

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	055	青少年の健全育成				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課
	基本施策	08	青少年の健全育成			
めざす姿	家庭・学校・地域社会が連携して、青少年の健全育成活動や地域の環境浄化活動を行い、多様な体験活動や多くの活動拠点が提供されることで、様々な状況にある青少年が健全に育成される望ましい社会環境が整備されています。また、それにより、青少年が心身ともに健やかに育っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	488,111,000	520,581,000	570,704,000			
国庫支出金	32,262,000	37,792,000	39,250,000			
都支出金	108,529,000	117,780,000	123,275,000			
市債	0	0	0			
その他	133,111,000	160,773,000	168,160,000			
一般財源	214,209,000	204,236,000	240,019,000			
予算現額	489,156,000	520,581,000	0			
決算額	483,316,130	492,950,056	0			
国庫支出金	34,041,000	37,627,000	0			
都支出金	109,610,000	116,503,141	0			
市債	0	0	0			
その他	139,409,250	142,726,050	0			
一般財源	200,255,880	196,093,865	0			
執行率	98.8	94.7	0.0			
(人件費)						
職員数	20.88	23.88	0.00			
職員人件費	160,398,218	187,651,285	0			
嘱託員数	48.00	45.00	0.00			
嘱託員人件費	149,779,200	140,664,870	0			
(間接経費)						
間接経費	835,454	885,494	0			
総コスト	794,329,002	822,151,705	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
青少年健全育成関連事業への参加者数	447,613	実績	446,769	-	-	-	466,495
	人	達成率	95.8	0.0	0.0	0.0	
青少年対策地区委員会事業への参加者数	11,091	実績	10,576	-	-	-	11,500
	人	達成率	92.0	0.0	0.0	0.0	
健全育成協力店の店舗数	153	実績	147	-	-	-	160
	店	達成率	91.9	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

青少年健全育成関連事業及び青少年対策地区委員会事業の参加者数については、雨天や総合体育館の修繕、インフルエンザの流行等に伴い、事業を中止したことにより減少した。
また、健全育成協力店の店舗数については、店舗の閉鎖等により減少した。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	青少年対策地区委員会や青少年委員、学校、警察等と連携し、交流事業や体験事業、環境浄化活動等を実施し、青少年の健全育成を図ることができた。また、若者自立支援については、子ども・若者総合相談において関係機関の紹介や助言等を行うことができた。			
達成できていない点	SNSの利用に関するトラブルの増加や利用者の低年齢化など青少年を取り巻く社会環境の変化に対し、柔軟に対応する必要がある。また、子ども・若者総合相談については、新規利用者が少なかったため周知方法を検討する必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>青少年対策地区委員会をはじめ地域や学校関係機関との連携を図りながら、環境浄化活動、街頭広報活動、ふれあい事業を実施するとともに、青少年交流の場として小学生バレーボールのつどいや青少年の健全育成を訴える標語コンクールなどを実施した。</p> <p>また、毎月第4土曜日を「家庭の日」と定め、啓発活動やイベントを実施したほか、青少年委員の協力のもとジュニアリーダー講習会など体験活動事業を実施するとともに、子ども会、ボーイ・ガールスカウトの活動を支援した。</p> <p>若者の自立等支援については、青少年自身や子育てに関する悩みの相談窓口である「青少年・子ども相談」のほか、ひきこもり等の若者を持つ家族に対し、セミナーや個別相談からなる「家族ゼミ」等を実施してきたが、平成28年8月よりひきこもりに関する相談を常設化した「子ども・若者総合相談」を開設した。</p> <p>子どもたちの放課後対策として「放課後子ども教室」や「学童クラブ」を全22小学校区で実施するとともに、登下館時の安全確保のため、見守りボランティアや子ども緊急避難の家を募集した。</p> <p>青少年音楽団体については、文化活動の発表に係る使用料の一部を援助した。</p> <p>児童館においては、指導員が日々来館する児童と共に遊びながら見守りを行った。また、各種サークル活動を支援した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>SNSの利用に関するトラブルが増加していることから、スマートフォンやSNSの適切な利用について啓発する必要がある。</p> <p>若者自立支援については、ひきこもりの長期化・高齢化に伴う東京都や近隣市の動向を踏まえ、支援方法について検討する必要がある。</p> <p>学童クラブについては、今後の保護者ニーズによる事業量を放課後子ども教室と一体的な運営及び内容の充実を通じて確保する必要がある。</p> <p>自主活動奨励事業においては定員に達していないサークルをPRするとともに、今後はニーズに合わせたサークルを増やし、不公平が生じないように配慮する。</p>
今後の展開
<p>青少年を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、青少年対策地区委員会や学校などの関係機関と連携し、青少年の非行防止及び犯罪被害防止に努めるとともに、様々な交流事業や体験活動事業を引き続き実施する。</p> <p>ひきこもり等の若者やその家族が適切な支援を受けられるよう必要な施策を検討するとともに、子ども・若者総合相談の利用促進を図る。</p> <p>学童クラブと放課後子ども教室が連携を深め、共通プログラムの実施など、国の放課後子ども総合プランに基づく一体型の運営を推進する。</p> <p>青少年団体の文化活動の発表に係る使用料の援助については、引き続き市として援助していく。</p> <p>児童館サークルについては、引き続き、活動内容を精査し、より多くの子どもたちが参加できるよう配慮するとともに、日頃の児童館サークル活動の成果発表として行っている「ちびっこ文化祭」については、令和2年の開催が第30回の節目となるため、事業を拡大しての実施を予定している。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
青少年健全育成事業	青少年健全育成協力店や子ども緊急避難の家の制度を周知し、協力者を募る。青少年対策地区委員会や学校、PTA等と連携し、各地域での環境浄化、非行防止、育成事業、啓発事業を実施するほか、青少年健全育成交流事業や標語コンクール、家庭の日事業等を実施する。	青少年健全育成協力店や子ども緊急避難の家の制度を周知し、協力者を募る。青少年対策地区委員会や学校、PTA等と連携し、各地域での環境浄化、非行防止、育成事業、啓発事業を実施するほか、青少年健全育成交流事業や標語コンクール、家庭の日事業等を実施する。	青少年健全育成協力店や子ども緊急避難の家の制度を周知し、協力者を募る。青少年対策地区委員会や学校、PTA等と連携し、各地域での環境浄化、非行防止、育成事業、啓発事業を実施するほか、青少年健全育成交流事業や標語コンクール、家庭の日事業等を実施する。	青少年健全育成協力店や子ども緊急避難の家の制度を周知し、協力者を募る。青少年対策地区委員会や学校、PTA等と連携し、各地域での環境浄化、非行防止、育成事業、啓発事業を実施するほか、青少年健全育成交流事業や標語コンクール、家庭の日事業等を実施する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
子ども家庭部 児童青少年課				
事業種別				
主要な事務事業	青少年対策地区委員会との連携により、健全育成協力店の加入促進やSNSトラブルに関する啓発活動、各地域での育成事業等を計画どおり実施し、青少年の非行防止及び犯罪被害防止に努めたほか、様々な交流の場を提供することができた。			
4か年事業費計(単位:千円)				
	11,052			
青少年総合相談運営事業	子ども・若者総合相談を実施するとともに、ひきこもりやニート等の状態にある子ども・若者の自立等支援体制の充実を図る。また、関係機関との連携を強化するための環境調整に努める。	子ども・若者総合相談を実施するとともに、ひきこもりやニート等の状態にある子ども・若者の自立等支援体制の充実を図る。また、関係機関との連携を強化するための環境調整に努める。	子ども・若者総合相談を実施するとともに、ひきこもりやニート等の状態にある子ども・若者の自立等支援体制の充実を図る。また、関係機関との連携を強化するための環境調整に努める。	子ども・若者総合相談を実施するとともに、ひきこもりやニート等の状態にある子ども・若者の自立等支援体制の充実を図る。また、関係機関との連携を強化するための環境調整に努める。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
子ども家庭部 児童青少年課				
事業種別				
主要な事務事業	子ども・若者総合相談を実施し、適切な関係機関の紹介や助言等を行うことができた。また、わが子の自立に悩む家族に向けたセミナーを実施した。			
4か年事業費計(単位:千円)				
	12,152			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 ちびっ子文化祭運営事業	30		1,803,000	1,802,428	2,499,000	文化センターで活動している小・中学生が年1回市内のホールで日頃の成果を発表する。	A	
2 自主活動奨励事業	30		11,683,000	11,343,799	11,856,000	児童館において年間をとおして実施するサークル活動を支援する他、児童館に指導員を配置する。	B	1
3 成人の日記念青年のつどい運営事業	30		2,851,000	2,774,891	2,806,000	成人式の開催	B	1
4 青少年団体活動支援事業	30		270,000	238,835	258,000	子ども会やボーイ・ガールスカウトの活動支援	C	1
5 青少年委員活動事業	30		4,879,000	4,668,511	4,952,000	青少年委員の活動事業	B	1
6 青少年団体育成奨励事業	30		696,000	305,898	696,000	青少年団体育成の奨励	B	1
7 青少年体験活動運営事業	30		1,567,000	1,442,237	1,421,000	野外活動や体験活動の実施	B	1
8 放課後子ども教室事業	30		154,842,000	152,215,089	163,422,000	放課後子ども教室事業の実施	B	3
9 青少年問題協議会運営事業	30		506,000	400,548	514,000	青少年の指導・育成・保護・矯正に関する総合的な施策の調査・審議・実施	B	1
10 青少年健全育成事業	30		7,210,000	6,824,668	8,421,000	青少年健全育成の環境づくり	B	1
11 学童クラブ管理運営事業	10		331,273,000	307,937,197	370,844,000	保護者が労働などの事情で昼間家庭にいない児童の健全育成を図る。	B	2
12 青少年総合相談運営事業	30		3,001,000	2,995,955	3,015,000	子ども・若者育成支援に関する相談	B	1
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			520,581,000	492,950,056	570,704,000			